



1. ルテチウム静注は静脈内投与後、標的となる腫瘍へ到達します。
2. 腫瘍に発現しているソマトスタチン受容体(SSTR)にTyr³-Octreotateが結合します。
3. SSTRを介してルテチウムオキシドトロチド(^{177}Lu)が腫瘍細胞内へ取り込まれます。
4. ^{177}Lu は細胞内からベータ線を照射します。
5. ベータ線は腫瘍細胞のDNA損傷を惹起し、細胞増殖抑制作用を発揮します。

PRRTによるセラノスティクスを実現する

ルタテラ[®] 静注

ルテチウムオキシドトレオチド(¹⁷⁷Lu)

VIDEO

□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□

Source URL: <https://www.loadtest.pro.novartis.com/products/lutathera/behavior>